

農林水産省

(1)面接の概要・内容

面接日：2023年7月20日（木）

面接官（何名いたか等）：3名

面接時間：17：00～17：20

面接を行った場所について（大体の部屋の大きさ、面接官との距離等）：小会議室程度の広さで、面接官との距離もそこまで遠くありませんでした。そのため面接官の声が聞き取りにくいといったことはありませんでした。

私：失礼いたします。

面接官A：受験番号と名前をお願いいたします。

私：受験番号〇〇、〇〇〇〇です。本日はよろしくお願ひいたします。

面接官A：よろしくお願ひいたします。どうぞ着席してください。〇〇さんは東京から来たのですか？

私：はい。昨日の夜に夜行バスで東京を出て、今日の朝仙台に着きました。

面接官A：それは大変でしたね。今は大学に通われているのですか？

私：はい。卒業に必要な単位はとれているのですが、卒業研究があるため毎日通っています。

面接官A：そうなのですね。どのような研究をされているのですか？

私：はい。日本酒等に含まれている麹菌の遺伝子について研究しています。

面接官A：もう少し詳しく教えてもらえますか？

私：はい。麹菌は美白作用のあるKAを生産するのですが、その生合成経路はまだ解明されていません。ある論文でそのKAの生産量がオートファジーと関係している可能性が出たため、KA生産量とオートファジーの関係性について研究しています。

面接官A：難しいことをされているのですね。ところでどの省庁を希望されているのですか？

私：はい。私は第一志望が東北農政局で、そこ以外は受けていません。

面接官A：確かに大学での知識を活かせそうですね。でも併願先はないのですか？

私：はい。国家公務員では大学で学んできたことを一番活かせる農政局しか考えていません。しかし、ほかの併願先として地元である山形県庁も受験し

ています。

面接官A：県庁はもう試験は終わったのですか？

私：いいえ。明日二次面接を予定しています。

面接官A：そうですか。話は変わるので、学生時代に取り組んだことでアルバイトをあげていますが、詳しく教えてもらってもいいですか？

私：はい。私は大学2年生から居酒屋でアルバイトを行ってきました。個人店ということもあり少ない人数でお店を回す中で、次に何をすべきか考えながら臨機応変に判断できる力が身についたと考えます。

面接官A：ではアルバイトで一番大変なことは何でしたか？

私：はい。一番大変だったことは、金曜日や土曜日の夜といったお店の混雑時に、スタッフ間での連携をとることです。お客様の帰ったテーブルの片付けやドリンク、料理の提供に加えて、同時並行で閉め作業も終わらせる必要があるため、スタッフ同士で声を掛け合ったり、チェックリストを用いたりすることで対応していました。

面接官A：そうなのですね。私の方からはこれ以上です。

面接官B：では、私からいくつか質問させてください。大学では○○会というサークルに入っていたそうですが、どんなサークルですか？

私：はい。○○会は、お酒、主に日本酒について利き酒会や酒蔵見学を行うことで、お酒についての知識を学ぶことを目的とするサークルです。

面接官B：そんなサークルがあるのですね。日本酒が好きなのですか？

私：はい。好きです。ですがあまり強くないのでほどほどで楽しむようにしています。

面接官B：そうなのですね。何かおすすめの日本酒はありますか？

私：おすすめの日本酒ですか。はい。あります。福島県の大和川酒造店という蔵の弥右衛門というお酒です。私の実習先でもあり、辛口のおいしいお酒です。

面接官B：そうなのですね。今度飲んでみます。○○さんはなぜ大学でお酒造りを学ぼうと思ったのですか？

私：はい。漫画『○○』が大好きで、その漫画の舞台になった大学、学科で私も学びたいと思ったからです。

面接官B：その漫画のどのあたりでそう思ったのですか？

私：はい。登場人物の台詞の中で、例えば納豆菌の浄化作用等、発酵に関わる微生物のすごさに初めて触れ、その奥深さや面白さを知ったことで、もっと深く学びたいと思いました。

面接官B：なるほど。私の方からは以上です。

面接官C：では私の方からも少し。ボランティア経験で海のゴミ拾いを長く続けているとありますが、大学生になった今でもされているのですか？

私：はい。したいと考えていたのですが丁度コロナ禍で開催が中止されていたため、大学生で参加はしていないです。ですが、今年の夏は例年通りに行われるそうなので、夏休みに参加したいと思っています。

面接官C：なるほど。ちなみに最初にそのボランティアをやろうと思ったきっかけは何ですか？小学生では普通あまり興味ないですよね。

私：はい。母がラジオで聞いて応募したのがきっかけです。企業が開催するボランティアで、ゴミ拾いの後にブドウ狩りができると聞き参加しました。

面接官C：確かに。それならブドウにつられて参加しますね。以上で面接は終わりです。長い時間お疲れ様でした。

私：ありがとうございました。

(2)面接を終えての印象

官庁訪問でいい感触だったためあまり準備せずに面接を受けたので、好きな漫画の深掘り等予想していなかった質問を受けて、頭が真っ白になってしまったことがあります。受け答えがうまくできたかの自信はなかったのですが、面接官の方々の態度が優しく、物腰も柔らかだったので、あまり緊張せずに笑顔で面接を受けることができました。面接時間も20分ほどだったので、受付時間からの待ち時間の方が圧倒的に長く、面接自体はあっという間に終わったという印象が強いです。

(3)模擬面接と比べて実際はどうだったか

本番では、一つの質問にあまり時間をかけずに多くとも2～3回のラリーで一つの話題が終わりました。模擬面接では、特に大学生活について結構深掘りされたので、ガクチカ等重点的に受け答えを対策してきたのですが、本番ではあっさりとしか触れられなかったので、その点は拍子抜けしました。しかし、面接自体の緊張感は練習時と大差なく、ほどよい緊張感がありながらも笑顔で、目を見て受け答えができたので、模擬面接で練習できてよかったです。

(4)他受験生の印象

皆頭が良さそうで、しっかりしていそうだなと思い少し緊張しました。男女比は半々くらいでした。私は面接時間が遅く、座席が最後だったため、受付時間から面接時間まで5時間程あったのですが、待合室では皆さんテキストを読んだり、面接のシミュレーションをしていたりで、会話をすることはませんでした。しかし、面接室前で待っていたときに、先に終わった人から「あまり志望動機は聞かれなかったよ。頑張れ！」とアドバイスを貰い嬉しかったです。

(5)受験生へのアドバイス

面接に少しでも苦手意識のある人は、多くの人に面接練習をしてもらう方がいいと思います。人によって、深掘りの仕方や聞く順番、話の広げ方が違うため、様々な人と事前に練習し場数を踏んでおくことで、本番でどんな質問がきても対応できるようになるはずです。また、折りたたみでもいいので傘は持っていくことをおすすめします。私は面接会場に行く途中で雨に降られたため、近所のスーパーを探して傘を買うという時間ロスがあり、受付時間ギリギリの到着になってしましました。焦りの元になるので事前準備は完璧に！